

ヴァイオリンとピアノのためのデュオ作品全曲演奏会

シューベルトの 詩情

Vol.
2

川口 成彦

KAWAGUCHI Naruhiko, Piano

1989年盛岡に生まれ、横浜で育つ。
第1回ショパン国際ピアノ楽器コンクール第2位、ブルージュ国際古楽コンクール最高位。
フレンツェ五月音楽祭や「ショパンと彼のヨーロッパ」(ワルジャワ)、モンテヴェルディ音楽祭(クレモナ)をはじめとした音楽祭に出演。協奏曲では18世紀オーケストラ、[oh!]
オルケストラ・ヒストリナなど、室内楽においてはマリオ・ブルネロ、キアロスクーロ・カルテットなどと共演している。
東京藝術大学楽理科卒業後、同大学および阿姆斯特ダム音楽院の古楽科修士課程修了。フルテピアノを小倉貴久子、リチャード・エガーの各氏に師事。第46回日本ショパン協会賞、第31回日本製鉄音楽賞、フレッシュアーティスト賞受賞。
またスペイン音楽をこよなく愛し、自主レーベルMUSISによるCD「ゴヤの生きたスペインより」や自主公演「スペイン音楽の森」などのプロジェクトも展開中。
2027年1月にはロドリゴの「英雄的協奏曲」を大阪交響楽団(指揮:小林資典)と共演予定。
今年にはイギリスのレーベルSignum Recordsより「ベートーヴェンとの旅路」が発売。

©Fumitaka Sait

鈴木 舞

SUZUKI Mai, Violin

東京藝術大学卒業後、ローザンス、ザルツブルク、ミュンヘンで学び、ディプロマとドイツ国家演奏家資格を取得。ソリストとして欧州、中央・東アジア、南米でツアーを行い、世界各地でリサイタルやオーケストラに招かれる。
国内では、宮内庁主催皇居桃華楽堂での御前演奏会出演やシャネル・ビッグマリオン・デイズ・アーティスト選出のほか、サントリーホール、王子ホール等主要ホールに出演。これまでに読売日響、東響、フィンランド・クオピオ響、ドイツ・ホーフ響、チェコ・モラヴィアフィル、スイス・ローザンス室内管などと協奏曲を共演している。
チャイコフスキー国際(ロシア)最年少セミファイナリスト、アンリ・マルトール国際(ドイツ)ファイナリスト、ヴァーツラフ・フムル国際(クロアチア)とオルフェウス室内楽(スイス)で優勝、スピヴェコフ国際(ロシア)第2位。
録音は、東響と共演したベートーヴェン(ヴァイオリン協奏曲)マズネ《タイスの瞑想曲》が日経「モーニング・イン・クラシックス」に収録された他、デビューCD『Mai Favorite』、ピアニスト福原彰美氏とのDuoレーゼールで「翼」をリリース。
使用楽器は、株式会社atsumariより貸与されている1682年製ニコロ・アマティ「Grand Amati」。

©Yukiko Shibuya

2026年8月4日(火)

18:30 開場/19:00 開演

【入場料】

会員 5,000円(座席指定可)

一般 5,500円

学生 2,500円(全席自由席)

ご予約・詳細は
はこちらから



鈴木舞 × 川口成彦 シューベルト・シリーズ第2章
瑞々しい歌心から、幻想曲 D.934 の深き幻想へ

Program

シューベルト

ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ 第1番 ニ長調 D 384

ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ 第3番 ト短調 D 408

グラーツ幻想曲 ハ長調 D 605A (ピアノソロ)

ヴァイオリンとピアノのための幻想曲 ハ長調 D 934

123
Shibuya Mitake Salon (vol.196)

鈴木 舞&川口成彦 シューベルトの詩情 Vol.2 ヴァイオリンとピアノのためのデュオ作品全曲演奏会



2026年8月4日(火)
18:30 開場/19:00 開演

入場料

会員 5,000円 (座席指定可)

一般 5,500円 (全席自由席)

学生 2,500円 (全席自由席)

鈴木舞 × 川口成彦 シューベルト・シリーズ第2章 瑞々しい歌心から、幻想曲 D.934 の深き幻想へ

シューベルトの音楽は、親しみやすい顔をして、ふと聴き手を深いところへ連れていく。

美しい旋律、素朴な歌、柔らかな光。
しかしその奥には、言葉にしがたい憧れや孤独、そしてどこか遠くへ向かっていくような幻想が息づいている。

その何気なさの中に、シューベルトの底知れぬ魅力がある。

鈴木舞 × 川口成彦によるシューベルト・シリーズ第2章となる本公演では、ソナチネ第1番 ニ長調 D.384、ソナチネ第3番 ト短調 D.408、ピアノソロによる《グラーツ幻想曲》D.605A、そして幻想曲 ハ長調 D.934をお届けする。

ソナチネ第1番には、若きシューベルトならではの明るさと瑞々しい歌心がある。
その旋律は清らかで伸びやかで、まるで音楽が自然に生まれてくる瞬間に立ち会うような喜びに満ちている。

一方、ソナチネ第3番では、親密な語らいの中に、ふと影を帯びた表情がのぞく。
軽やかさの奥にある翳り。
この移ろいこそ、シューベルトを聴く大きな愉しみのひとつだろう。

ピアノソロで奏でられる《グラーツ幻想曲》D.605Aは、ひとときの夢のような作品である。

即興のように現れては消えていく旋律の断片に、シューベルトの内なる詩がそっと滲む。

そして、幻想曲 ハ長調 D.934。
この作品に至ると、シューベルトの音楽は一気に大きな広がりを見せる。
歌、祈り、舞曲、夢、そして激情。
さまざまな表情がひとつの流れの中で結ばれ、ヴァイオリンとピアノは、時に寄り添い、時に呼応しながら、深い幻想の時間を紡いでいく。

鈴木舞氏のヴァイオリンは、ダイヤモンドの粒が踊るような音色で、時に情熱的に、そして夢見るように繊細に、表情豊かに歌いあげる。

作品ごと真剣に音楽に向き合い、時に大胆に演じ切るその姿は、まるで女流剣士のよう。

シューベルトの音楽は奏者によっては単調に聴こえてしまうこともあるが、彼女の演奏はその真逆。
聴き手を最後まで引きつける力に満ちている。

一方、川口成彦氏のピアノは、精妙なニュアンスに満ちたフレーズの美しさが際立ち、対話を重ねた響きで会場を包み込む。

彼のピアノは、語るように歌い、歌うように語る。
シューベルトの音楽が持つ詩情と不思議なほどに重なり合うのは、偶然ではないだろう。

芸大時代の同級生である二人のアンサンブルは、まさに息がぴったりだ。
互いの音をよく聴き、受け取り、そこから次の一音が自然に生まれていく。
単なる技巧の見せ場ではなく、作品の奥にある「語られざるもの」に耳を澄ませると、そこにはきっと、シューベルトの音楽が持つ「言葉にならない詩」が満ちていることだろう。

瑞々しい歌心から、幻想曲 D.934の深き幻想へ。
鈴木舞 × 川口成彦が紡ぐシューベルトの第2章は、親密でありながら深く、静かでありながら豊かな余韻を残す時間となるに違いない。

(渋谷美竹サロン)

123
Shibuya Mitake Salon (vol.196)



世界に通用する才能溢れる
トップアーティストが
続々と集結！

大ホールのプラチナ席をしのぐ
生演奏の醍醐味、
一期一会で味わう圧倒的な臨在感。

日本のトップクラスの演奏家たちが、
こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。
渋谷美竹サロン(美竹清花さろん)が追求する
“本物の音楽”は、演奏者と参加者とわたしたちの、
三位一体の努力と対話から生まれます。

X (旧Twitter)



instagram



LINE



誕生。
宮益坂、
クラシック音楽サロン、
渋谷駅 徒歩2分

サロン・メンバーズ
入会の詳細はこちら
(一時停止中)



●お問い合わせ

株式会社 ILA 渋谷美竹サロン (美竹清花さろん)

東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)

☎ 03-6452-6711 (月・金 10:30-17:00)

070-2168-8484 (繋がりにくい場合)

Fax 03 (3409) 0188



公式Webサイト

